



No.58

The University of Tokyo Forests News

科学の森ニュース

June 10, 2012

発行：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

演習林長新任のご挨拶

演習林長 鈴木雅一



4月に演習林長となり、気を引きしめて任につきました。

東京大学には、日々新しい知見を生み出す活力が問われています。また、東日本大震災とその後の困難が示すように、私たちは未だ解明できていない様々な自然の現象に取り囲まれています。腰を据えて取り組むべき課題も多くあることを再認識しています。

演習林における主たる研究対象である「森林」は、スピード感をもって成果を上げることが求められる時代の中で、性急さだけでは解き明かせない対象です。短期的な成果と根源的な課題解決の両方について、一段と知恵を絞って取り組む必要があります。また、「森林研究」は社会的な関心の高い課題も数多く、その重要性はますます高まっています。

森と人（学生、研究者）がのびのびと育つ場としての演習林を、皆さんとともにめざして頑張りたいと思います。

演習林所属の学生 6 名が 大学院を修了しました

教育研究センター

2012 年 3 月 22 日（木）、東京大学大学院の修士課程と博士課程の修了式が行われました。演習林では、石塚航さんが博士課程、岡田桃子さん、小泉紀彰さん、土肥和貴さん、松井優一さん、トウエ・トウエ・ウィンさんの 5 名が修士課程をそれぞれ修了しました。通い慣れた弥生キャンパス 1 号館の前で 6 名揃って記念撮影。大学院の研究生生活の思い出を胸に、それぞれの新しい道へと旅立たれる皆さんの今後のご活躍を期待しています。



1 号館前で全員揃って記念撮影

辰巳晋一さんが笹川科学研究助成 研究奨励賞を受賞しました

教育研究センター

2012 年 4 月 19 日（木）、平成 23 年度笹川科学研究奨励賞受賞式が ANA インターコンチネンタルホテルで開催されました。演習林所属学生の辰巳晋一さん（D2）は「異齢混交林の持続的管理に向けた森林動態モデルの開発とシミュレーション」という研究テーマで受賞しました。受賞講演の後、聴衆からは開発したモデルの適用可能性についてなど、いくつもの熱心な質問がありました。最後に、座長の東京大学名誉教授の高橋正征先生から「これからの森林の

あり方に積極的に取り組んでいる辰巳くんに元気をもらいました」という言葉がありました。学生さんたちの活躍に今後も注目です。



表彰状を手に笑顔の辰巳さん

2 年ぶりの春の一般公開

千葉演習林

2012 年 4 月 21 日（土）・22 日（日）、恒例となっている春の一般公開を実施しました。昨年は、隣接する市道が崩壊した影響を受けて中止となったため、2010 年以來の一般公開となりました。初日は 171 人とまずまずの来演者で賑わいましたが、2 日目はこの季節としては肌寒い 1 日となったためか出足が鈍く、来演者は 44 人でした。

公開前日の 20 日（金）には、BayFM の番組「パワーベイモーニング」内の千葉県情報紹介コーナー「ちーばレポ」に、当演習林の當山助教が電話出演し、一般公開に関する情報や見どころ等を紹介しました。



弥生地区で附属施設の事務を担当しているのは、農学系総務課研究支援チーム附属施設担当です。今回は演習林を担当してくださっている森啓介チームリーダーと古川稔子係長を紹介します。

森さんは今年度で3年目、古川さんはこの4月から附属施設担当になったばかり。お二人とも家庭菜園が大好きということで、さすが農学系！

森さんは7つの地方演習林に行かれたことがあり、都心からそう遠くないところにありながら山深かった秩父演習林が特に印象に残ったそうです。一方、古川さんは担当になったばかりなので、ほとんどの地方演習林が未体験。地方演習林の担当者とは電話やメールのみのやり取りが多いので、各地方演習林の事務の様子を見てみたいと語っていました。

附属施設担当の主な仕事は、地方演習林事務と弥生地区事務とを結ぶ、連絡調整という橋渡しの役割。表にはあまり出てきませんが、各地に点在する地方演習林の多様な業務の窓口となり、演習林の活動を支える縁の下の力持ちです。



取材中の和やかな雰囲気
森さん(左)と古川さん(右)



仕事中は真剣です

演習林のイベントダイジェスト

詳細はホームページをご覧ください。各演習林にお問い合わせください。

- 2012年6月**
- 2~3日 総合科目「ダムと森林」☆(生態水文)
 - 2~3日 体験ゼミ「危険生物の知識」☆(秩父)
 - 3日 「子ども樹木博士」認定会(田無)
 - 3日 体験ゼミ「都市の緑のインタープリター」☆(田無)
 - 6~8日 関東甲信越大学演習林技術職員研修◆(富士)
 - 7日 学内公開プログラム「新緑の富良野の森を訪ねて」◆(北海道)
 - 8日 富良野地区合同ワークショップ
「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」(北海道)
 - 9~10日 演習林交歓会2012◆(富士)
 - 24日 北海道演習林公開セミナー(北海道)
- 7月**
- 22日 大麓山ハイキング登山会(北海道)
 - 24~27日 JSTサマー・サイエンスキャンプ
「森林の未来は?～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」(北海道)
 - 30日~8月1日 高校生ゼミナール「高校生のための森と海のゼミナール」◆(千葉)
 - 31日~8月4日 総合科目「伊豆に学ぶプラス」☆(樹芸)
- 8月**
- 1~4日 体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ1」☆(樹芸)
 - 6~10日 体験ゼミ「森に学ぶ(ふらの)」☆(北海道)
 - 11~12日 公開講座「東大の森林で昆虫採集」(秩父)
 - 17~21日 総合科目「伊豆に学ぶプラス」☆(樹芸)
 - 18~21日 体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ2」☆(樹芸)
 - 未定 運動会学生との共同作業◆(富士)
- 9月**
- 13~17日 体験ゼミ「企画系さらに伊豆に学ぶ」☆(樹芸)
 - 24~28日 総合科目「伊豆に学ぶプラス」(樹芸)
 - 25~28日 体験ゼミ「森に学ぶ(伊豆)」☆(樹芸)
 - 27~29日 第5回アジア大学演習林コンソーシアム◆(富士)

凡例…無印:一般向け :学生向け :その他

東京大学演習林出版局 - 新刊紹介 -

“森たび” 東京大学演習林の見どころ 100
定価 1,000 円 + 税 四六判 106 ページ

東京大学演習林生態水文学研究所ブックレット4
ナラ枯れと身近な森の管理
税込 1,000 円 A5 判 94 ページ

東京大学演習林生態水文学研究所リーフレット6
東京大学犬山研究林の見どころ
税込 500 円 A5 判 30 ページ

東京大学秩父演習林
科学の森たんけんシリーズ 12 冬芽
税込 300 円 A5 判 20 ページ

東京大学演習林出版局の書籍は、各地方演習林のほか、東大生協農学部店、ジュンク堂書店(池袋本店、名古屋店、ロフト名古屋店、ネットストア)でご購入できます。

モウソウチク

イネ科マダケ属

学名：*Phyllostachys heterocycla* (Carr.)Mitford

高さ 10m 以上、直径 20cm になる中国原産の竹で、各地に栽培されています。かつては器具材や食用に利用されていた竹林ですが、時代と共に利用されなくなりました。現在、放置された竹林が増殖して、近隣の田畑や山林を荒らすことが全国的な問題となっています。

樹芸研究所では、全学体験ゼミで間伐体験を行い、材を竹炭・食器・炊飯・川床遊びなどに利用することで適度に管理し、学生教育に活用していますが、近年これを脅かす事態が発生しています。

それは野生イノシシの増加です。冬から早春の貴重な食料であるタケノコを食べつくしてしまうため新しい竹が生えず、このままでは竹林は衰退してしまいます。自然との付き合い方は難しいです。

樹芸研究所



イノシシが食べ荒らした
タケノコの皮が散乱

名所・名物案内

大麓山（だいろくさん）

北海道演習林

北海道演習林の最高峰である大麓山は、大雪山系十勝岳連峰の最南端に位置します。山の名前は北海道演習林創設当時の第5代総長である菊池大麓（1855-1917）に因んで名付けられました。

標高 1,459m の頂上からは演習林の樹海や富良野盆地、さらには十勝岳連峰、夕張・芦別山系、日高山脈といった山並みを望むことができます。標高 1,340m 付近から山頂に向かってダケカンバ・チシマザサ帯からハイマツ・矮性アカエゾマツ帯へと植生が移行します。林床はコケ類で厚く覆われ、コケモモやリンネソウ、ガンコウランを始めとする約 100 種の高山植物が確認されており、雪どけ後の 6 月頃から色鮮やかな花を競うように咲かせます。また、ヒグマやクロテン、シマリス、ギンザンマシコ、ノゴマなどの野生動物も数多くいます。特に 2007 年からの調査によりエゾナキウサギの生息が確認され、大雪・北見山系個体群の南西端として重要な生息地であることが明らかになりました。

毎年 7 月頃に開催している大麓山ハイキング登山会は今年で 11 回目を迎えます。普段は入林できない大麓山に登る良い機会です。興味のある方は北海道演習林のホームページに掲載される情報をご確認ください。



科学の森ニュース (The University of Tokyo Forests News) 第58号 (No.58)

発行日 平成24年6月10日

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

発行人 鈴木雅一

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林広報情報委員会

TEL 03-5841-5497 FAX 03-5841-5494

編集人 後藤 晋

E-mail mori2010@uf.a.u-tokyo.ac.jp